

第 149 回 海上交通システム (MTS) 研究会 ご案内

自動車専用運搬船 (PCC) の火災と関連の諸問題

2022 年と 2023 年、相次いでドイツからの新車を満載した大型自動車専用運搬船 (Pure Car Carrier PCC) が航行中火災による海難事故を起こした。ともに日本の大手海運会社の運航する日本で建造された PCC である。本件の詳細はまだ解明されていないが、出火原因は搭載したドイツ製電気自動車 (EV) からの出火によるとの見方が大勢である。

CO2 規制を背景に、EV 化の大きな潮流の中で起こった本件は、自動車産業の変革に一大警鐘となる事件ととらえることができる。このうちの 1 件において、運航会社が積荷の EV メーカー (独) を損害賠償で提訴している。

造船・海運関係においては EV の原動力となるリチウムイオン電池 (LIB) の安全性、万一発火した場合には消火や防火という新たな問題となった。世界の自動車業界は EV 化に向けての大きな流れの中にある。我々が注視すべきはこうした問題を引き起こした LIB の革新的な技術的解決、そして、LIB に使用されやがては廃棄回収されるレアメタル資源問題、突出した中国の電池・EV の大量・低コスト製造などと経済安全保障などの諸問題についても知らねばならない。

今回の例会では、三氏の講師によりこれら問題の一部をとりあげるこことした。

プログラム

1. 日 時 令和 6 年 7 月 25 日 (木) 14:30~18:00
2. 開催方法 対面
3. 会 場 神戸大学深江キャンパス 総合学術交流棟 梅木 Y ホール
4. 研究会次第
14:30~14:40 会長挨拶など
14:40~15:30 大型自動車専用運搬船の火災事故と関連諸問題
15:30~16:20 蓄電池が発火する理由と対策、今後の蓄電池とは
MTS シニアアドバイザー 岡本 洋
—電池の原理からスペースシャトルのエンジンまで—
国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) 未来創造研究開発推進部
革新的 GX 技術創出事業 蓄電池領域プログラムオフィサー (PO) 桑畑 進
16:20~16:30 会務報告および休憩
16:30~17:20 自動車専用運搬船の消火システムの課題 —EV 火災はなぜ消せなかったのか—
元川崎重工(株) 技術開発本部長 大山 正俊
17:20~18:00 パネルディスカッション
5. 情報交流会 18:20~20:00 総合学術交流棟ロビー
6. 参加費 研究会 会員 1000 円、非会員 3000 円 (会員の紹介で会員と同額)
情報交流会 会員・非会員 4000 円
7. 問合せ先 MTS 事務局 : E-mail:office@mts-matrix.org
(電話, FAX は MTS 庶務担当幹事 濱 巖 078-741-3101 へ)

※参加申込みについては、必ず上記 MTS 事務局あて E-mail にて (FAX の場合は庶務担当幹事まで)、研究会、情報交流会それぞれについて出欠を明記し (会員紹介の場合は会員名を記載)、7 月 18 日 (木) 迄にお願いします。